

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (1341), 課コード (1701), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 一般, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial breakdowns.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes checkboxes for status (e.g., 現状どおり推進) and a space for comments.

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	1874	課コード	1701	会計種別	一般会計	予算の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)																
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 学童保育室施設整備事業	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	子ども部・子ども支援課									
	③事業主体	個別事業 学童保育室の整備	④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市												
	⑤事業期間	平成25年度 ~		⑥担当職員数	5人 (換算人数)		0.58人									
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	8,027千円 (うち人件費 5,046千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)						
	⑧施策の位置づけ	施策コード	33103	重点プロジェクトへの位置づけ	重点4		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)	子ども総合計画 健康福祉総				
(2) 目的	施策目的・展開方向	待機児童ゼロを堅持するため、保育園や学童保育室など計画的に整備するとともに、多様な保育ニーズを踏まえながら、保育サービスの質の向上を図ります。また、保育園が有する専門的なノウハウをいかし、地域における子育て拠点として子育てをともに支える体制を整備します。			事業目的	学童保育室の施設を充実させるため、計画的に施設整備を図る。										
(3) 事業内容	内容	令和元年度に見直しを行った「第二次我孫子市放課後子ども総合プラン行動計画」及び個別施設計画を踏まえ、各施設の老朽化対応及び長寿命化を図ります。			当該年度執行計画	一小学学童保育室の空調設備更新工事										
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)				当該年度活動結果指標	学童保育室施設整備数 (一小学)		単位	保育室	想定値	1					
当該年度	空調設備を更新することにより、一小学学童保育室利用児童が快適に過ごすことが出来る。新木小学学童保育室を整備することにより、新木小学学童保育室が安全に過ごすことが出来る。				指標種類	直接		指標	施設の老朽化・長寿命化に係る施設整備。	単位	保育室	(5) 現況値	0	(6) 目標値	1	
令和3年度	増大する学童保育需要への対応、施設老朽化・長寿命化への対応、児童福祉の向上をめざした施設の整備				直接	施設修繕箇所数又は修繕検討施設数		保育室								
令和4年度	増大する学童保育需要への対応、施設老朽化・長寿命化への対応、児童福祉の向上をめざした施設の整備				直接	施設修繕箇所数又は修繕検討施設数		保育室	17							
(7) 事業実施上の課題と対応	学童保育室の施設や設備について、老朽化が著しいものがあり故障した場合等、迅速な対応が難しい場合がある。また、一部の保育室では学童利用児童数増加により保育室の専有面積確保が難しい。学校自体の児童数増や特別支援教室増により、普通教室が不足しているため、学童保育室を学校敷地内で増設することが困難な状況となっている。			代替案検討	○有 ●無											
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度								
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)		
			大規模化及び児童数増減に伴う対応 老朽化への検討		【政策】 * 一小学学童保育室空調機更新工事	2,981					大規模化及び児童数増減に伴う対応 老朽化・長寿命化への検討 空調設備更新工事(3か所) 並木小・湖北台西小・布佐小				大規模化及び児童数増減に伴う対応 老朽化・長寿命化への検討	
		予算(決算)額	合計	0	合計	2,981	合計	0	合計	0						
		補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0			
県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
起債	充当率	0%	0	充当率	90%	1,700	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	
一般財源			0			1,281			0			0			0	
その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0	
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.46			0.58			0.58			0.58			0.58	
正職員人件費			4,048			5,046			5,046			5,046			5,046	
嘱託職員報酬額			0			0			0			0			0	
臨時職員賃金額			0			0			0			0			0	
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)			4,048			8,027			5,046			5,046			5,046	
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)			2,024千円/保育室			8,027千円/保育室										

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？ (事業の必要性)	一小学学童保育室の空調設備は、設置から20年以上経過しており老朽化が著しい。現状ガスヒートポンプの冷却水及び室外機ポンプより水漏れが生じており、起動してもエラーにより停止してしまう。部品交換が望ましいが、在庫がないため、応急処置で対応しているため、設備更新が必要である。				<input type="checkbox"/> ①事前確認での想定どおり <input type="checkbox"/> ②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？ (市実施の必要性)	<input type="checkbox"/> ①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> ②自治体である市が推進すべきである (理由) <input type="checkbox"/> 市が主導で進めることにより実効性が得られる <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される <input type="checkbox"/> 市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		<input type="checkbox"/> ①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <input type="checkbox"/> ②市が主導で進めなければ実効性がなかった <input type="checkbox"/> ③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された <input type="checkbox"/> ④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した <input type="checkbox"/> ⑤サービス水準が確保された <input type="checkbox"/> ⑥サービスの安定供給が確保された <input type="checkbox"/> ⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？ (体制づくり)	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	<input checked="" type="checkbox"/> ①事業計画時に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ②事業実施時に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ③管理・運営に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ④市民の自主的な活動と連携している <input type="checkbox"/> ⑤市民と共同で事業を実施 <input type="checkbox"/> ⑥その他 <その他の内容>		父母会等からの要望を参考に事業を実施している。				<input type="checkbox"/> ①当初期待した以上 <input type="checkbox"/> ②当初期待したとおり <input type="checkbox"/> ③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	<input type="checkbox"/> ①自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> ②生き物と共存している <input type="checkbox"/> ③手賀沼を意識している <input checked="" type="checkbox"/> ④環境負荷低減に貢献している <input type="checkbox"/> ⑤その他 <その他の内容>		仕様書等に環境配慮を明記する。				<input type="checkbox"/> ①想定どおり <input type="checkbox"/> ②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値 (a) (保育室)	目標値 (b) (保育室)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		<input type="checkbox"/> ①目標値達成 <input type="checkbox"/> ②目標値未達成 <目標を達成した理由/未達成となった原因>		○要 ○不要
	0	1	<input type="checkbox"/> ①客観的なデータ・事実に基づき設定している <input checked="" type="checkbox"/> ②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない <input type="checkbox"/> ③現況値との差が小さい値ではない <input type="checkbox"/> ④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値 (と現況値の差) と同等の水準である		実績値 (f) (保育室)		達成率 (%) (f/b × 100)		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		<input type="checkbox"/> ①想定事業費未済 <input type="checkbox"/> ②概ね想定事業費以内 <input type="checkbox"/> ③想定事業費超過 <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ○不要
	事業費 (c) (千円)	事業費削減額 (d) (千円)	<input checked="" type="checkbox"/> ①国・県助成制度活用 <input type="checkbox"/> ⑤PFI等民間資本の活用 <input type="checkbox"/> ②現有体制での対応 <input type="checkbox"/> ⑥受益者負担 <input type="checkbox"/> ③維持管理費の削減策の実施 <input type="checkbox"/> ⑦その他 <input type="checkbox"/> ④民間委託		実績値 (g) (千円)		対事業費 (%) (g/c) × 100		
	8,027 / Δ3,979		<削減の内容>		<超過理由等>				
(3) 目標値を実現するために投じた事業費は適正か？ (目標対費用)	目標値対事業費 (e)		計算方法		達成状況		<input type="checkbox"/> ①目標値以上 <input type="checkbox"/> ②目標値と同程度 <input type="checkbox"/> ③目標値以下 <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		○要 ○不要
	0.01	単位	費用単位	<input checked="" type="checkbox"/> ①単年度の指標：目標値 × 費用単位 / 事業費 <input type="checkbox"/> ②複数年度の指標：(目標値 - 現況値) × 費用単位 / 事業費		実績値 (h)		対目標値 (%) (h/e) × 100	

3. 事後評価										
<input type="checkbox"/> 現状どおり推進 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 結合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 事業手法見直し <input type="checkbox"/> その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	2134	課コード	1701	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策 □経常 □なし
-------	------	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	我孫子市結婚相談事業への支援		実施計画への位置づけ	○有 ○無		②部課名	子ども部・子ども支援課	
	③事業主体	○市 ●その他（我孫子市社会福祉協議会）			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 □全市				
	⑤事業期間	令和2年度～			⑥担当職員数	2人（換算人数）		0.4人		
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	0千円		当該（開始）年度	（当初）	5,691千円	（うち人件費）	3,480千円	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	33102	重点プロジェクトへの位置づけ	重点4	基本計画地区別計画への位置づけ	●有 ○無		部門別計画への位置づけ	（計画名）
(2) 目的	施策目的・展開方向	地球全体で子育てを支援する環境をつくるため、保育園・幼稚園・NPOなど子育て支援にかかわる団体との連携を強化するとともに、各団体間の連携を促進します。また、父親の育児参加の促進や地域に根ざした子育て支援事業の充実、市民への啓発、子育てサークルなどによる自主的な活動の促進など、家庭で孤立した子育て支援事業の充実、市民への啓発、子育てサークルなどによる自主的な活動の促進など、家庭で孤立した			事業目的	少子化対策として、結婚したい方が結婚できるよう、我孫子市社会福祉協議会の「結婚相談業務」の事業充実を図り、成婚・我孫子での定住に繋げます。				
(3) 事業内容	内容	国の少子化対策の1つである、結婚・妊娠・出産・育児の「切れ目ない支援」（次世代育成支援推進法に基づく行動計画策定指針や少子化対策大綱に記載）の実現するため、平成27年度より社会福祉協議会我孫子市結婚相談所の運営を支援しています。けやきプラザ11階の市管轄スペースの提供や臨時職員等人員費の一部補助等を行い、利用者の利便性を図ります。我孫子市結婚相談所は、相談業務を中心に定期的な婚活イベント等の開催やお見合いを実施するとともに、民間事業者と連携して結婚したい人を応援していますが、市が関わり調整等を行うことで、地域への機運醸成を図ります。また、結婚相談所利用者には婚活段階から市の子育て支援策や魅力を情報発信します。			当該年度執行計画	我孫子市社会福祉協議会が運営主体である我孫子市結婚相談事業の運営支援を行います。 通年・けやきプラザ11階の場所の提供、イベント実施にかかる企画・運営・周知等の支援、市内連絡調整。 ・結婚相談業務に係る臨時職員、相談員の人員費の一部等を社会福祉協議会へ補助金として交付。 ・結婚相談所利用者への我孫子市の子育て情報や魅力のPR。 ・市全体で結婚を応援する機運を高めるための民間事業者との連携支援・調整。				
		当該年度活動結果指標	相談・お見合い件数	単位	件	想定値	590	実績値		
(4) 達成目標（期待する成果）	達成目標（期待する成果）				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値
当該年度	お見合い件数・婚姻数の増加				直接	相談・お見合い件数		件	579	590
令和3年度	未婚化の解消				間接	相談・お見合い件数		件		600
令和4年度	未婚化の解消				間接	相談・お見合い件数		件		610
(7) 事業実施上の課題と対応	成婚数は年々増加しているが、全てが我孫子市への定住につながらないという課題がある。令和元年度の事業仕分けの結果を踏まえ、令和2年度に事業の在り方を検討していく。				代替案検討	○有 ●無				

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目	事前評価				事後評価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））				改善検討		
(1) 事業が今必要である理由・背景は？（事業の必要性）	少子化は様々な要因が絡んでいるため多角的な対策が必要です。本市の婚姻率は過去に比べて経年的に低下傾向にありますが、市民意識調査（平成27年）では、独身者の73%が「結婚するつもり」と回答し、独身でいる最大の理由は「適当な相手にまだ巡り会わないから」が一番多く、婚活支援の潜在的なニーズは高いと言えます。我孫子市結婚相談所で実施している、結婚に関する相談業務を中心とし、見合いやイベント開催などの複合的な取り組みは、結婚を希望する方の大きな支援となります。また、結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援としても、市の少子化対策の重要な役割を担っています。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要		
	(2) 市が実施する必要性はあるか？（市実施の必要性）	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない（理由） □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ●②自治体である市が推進すべきである（理由） □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される ■市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他				□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>				○要 ○不要	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容 ○①事業計画時に市民の参画有り ●②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容>				工夫の具体的な内容 会員や市民向けのイベント開催を定期的実施し、市内事業者等との連携を図っている。				実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）	参加・協働の程度・内容 ○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>	○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点 □①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 特になし				取組む内容				実施した具体的な内容	環境への配慮 ○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>	○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (件)	目標値(b) (件)	目標値の妥当性のチェック □①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値（と現況値の差）と同等の水準である		達成状況	実績値(f) (件)	達成率(%) (f/b×100)	○①目標値達成 ○②目標値未達成 <目標を達成した理由/未達成となった原因>		○要 ○不要	
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	実施予定の対策 □①国・県助成制度活用 ■②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託 □⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他		実施状況	実績値(g) (千円)	対事業費(%) (g/c)×100	○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ○不要
	事業費削減率(%)		△2.43		<削減の内容>		<超過理由等>				
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？（目標対費用）	目標値対事業費(e)		計算方法 ●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		達成状況	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下 <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		○要 ○不要	

3. 事後評価

○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------